

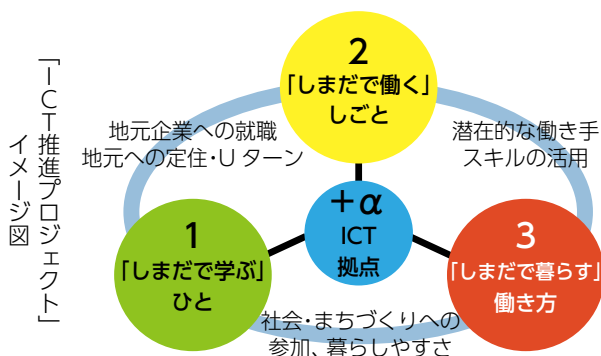
ICTが変える未来

市では、さまざまな分野におけるICTの利活用を推進し、地域経済の持続的な発展を目指す「ICT推進プロジェクト」に取り組んでいます。 ⑩戦略推進課 ☎36-7127



ICTとは

ICTとは、Information and Communication Technologyの略で「情報通信技術」を意味します。市では、この技術を「しごと」と「働き方」の3つの分野で活用し「ICT推進プロジェクト」に取り組んでいます。ICTの活用は、生産性の向上や業務の効率化だけでなく、個々のライフスタイルに合った暮らしや働き方も実現させることが可能です。さらに人口減少・超高齢社会に対応し、地域経済の持続的な発展を目指していきます。



ICTを活用した事業を推進するため、平成29年度に設立されたのが「島田ICTコンソーシアム」です。産官学金労の幅広い分野の専門機関と民間事業者で組織され、教育・産業分野へのICT導入・活用を推進。将来の島田市を担う人材の育成と産業の活性化を目指しています。今年度は「プログラミング体験事業」や市内企業での「訪問・相談事業」、また公募による「ICT利活用促進モデル事業」などを実施。それぞれの分野でICTを活用し、課題解決に向けて動き出しています。

島田ICTコンソーシアム

教育×ICT



プログラミングの楽しさ体験

市内の全小・中学校で、ドローンやロボホン(小型ロボット)を活用したプログラミング教室を実施しています。

対象は、主に小学6年生と中学2年生。タブレットで指示を出すプログラムを班ごとに組み、実行してドローンやロボホンを動かします。

11月26日に大津小で行われたドローンのプログラミング教室には、6年生の児童約50人が参加。災害で孤立してしまった人を助けるため、周囲の動画を撮る動きを指示しました。何度も修正して、思い描いたイメージ通りにドローンが動く、児童たちから歓声が上がりました。

ICTで新しい働き方

島田ICTコンソーシアムが運営するクラウドソーシング(※)事業「Asubi planning」。

インターネットを介し、「仕事を依頼したい企業」と「仕事をしたい人」を繋ぐ仕組みです。

仕事内容は、店舗・商品紹介記事作成やチラシデザイン、データ入力など多岐にわたります。「決まった時間・場所で勤務できないけれど、空いた時間を活用したい」というクラウドワーカーが、新しい働き方を実践しています。



※クラウドソーシングとは
不特定多数の人々に、インターネットを介して業務委託すること。必ずしも雇用関係が必要としないことが特徴。

企業側は、よりよい品質のものを得られるなどのメリットがあり、ワーカーは、働く場所や時間に拘束されないなどのメリットがある。



「好きなときに、好きなだけ」

仕事を受けてみて

息子がコンソーシアムでのプログラミング教室に参加した際、クラウドソーシングを紹介され、興味を持ちました。ブログのライターやイベントのサポートスタッフなど、自分の時間をやりくりして仕事をしています。

良いところは、好きな時間に好きな場所で仕事ができることと、時給ではなく1本あたりで報酬が決まっていること。研修やサポートがあるので、初めての人やブランクのある人でも、気軽に始めやすいのがいいですね。



クラウドワーカー
たしおじゅんこ
田塩順子さん

仕事を依頼してみても

クラウドソーシングで、店舗や新商品の情報発信を依頼しています。写真をきれいに撮って、記事をブログに書いてもらっています。

特に、お客さん目線で感想を書いてもらえるのがいいですね。ワーカーさんは店員ではないので、自分たちでは気付かないような視点で、商品やお店の良いところを紹介してくれて、助かっています。



龍月堂
ますだたかひろ
増田考弘さん



ライターが書いた龍月堂
ブログ「島田甘味つづり」

「見える化」で最適な管理を

改善のための一歩に

バラは、一晩で病気にかかってしまうこともあるデリケートな花で、ハウス内の環境調整がすごく大事です。そのため、気候の変化に合わせて頻繁にハウスの温度や湿度を確認し、調整しなければなりません。現状を変えるきっかけになればと思い、約6カ月間ICTの導入実験を行いました。

導入前

- 経験や勘を頼りに、ビニールハウス内の栽培環境を管理
⇒正確な適正値がわからない。過去の生育状況と比較できない。
- 頻繁に温度などを確認
⇒不在の間、変化の経緯がわからない。

導入後

- ICTでビニールハウス内の栽培環境を「見える化」
⇒さらに長期間解析できれば正確な適正値を算出し、高品質化や生産性向上が望める。
- 遠隔でハウス環境を確認
⇒スマートフォンで変化の経緯がわかる。



すずきじょうじ
バラ農家 鈴木譲治さん



スマートフォンで数値を確認



ハウス内に設置されたセンサー類

より良い環境でバラ栽培を
神座でバラ農家を営む鈴木さんは、ビニールハウスに温度や湿度などを計測するセンサーを設置し、データを蓄積・解析する実験を行いました。これまで、ハウス内の栽培環境は、鈴木さんの経験や勘を元に管理していました。しかし、バラの高品質化や生産性の向上が課題でした。そこで、ハウス内の3カ所にセンサーを設置。温度・湿度・照度・二酸化炭素濃度を計測し、インターネット経由でデータを蓄積しました。これにより、ハウス内の環境を「見える化」。スマートフォンで栽培環境を確認できるようになり、温度などの変化の経緯が記録され、バラにとって最適な環境作りができるようになりました。

産業×ICT

ICTの利活用で誰もが暮らしやすいまちに



島田ICTコンソーシアム
ゆげひろあき
湯瀬裕昭会長
(静岡県立大学教授)

島田ICTコンソーシアムでは、ICTの利活用で「誰もが暮らしやすいまちづくり」を目指し、さまざまな事業を展開しています。人口減少・超高齢社会への対応を見据え、地域経済の持続的な発展を実現するために、限られた人材・時間・資源を、最大限に有効活用できる仕組みを構築していきます。その中で「島田らしさ」を出していければと考えています。

11月27日、市が「デジタル変革宣言」を発表しました。行政がデジタル化を積極的に推進し、市民サービスの向上や効率的な行政運営、地域の発展を目指す中で、今後は更なる連携強化を図り、積極的な取り組みを推進していきます。